

イオンの前身のひとつである岡田屋が50年前に植樹した地に、新たな桜の苗木を植えます

「岡崎さくら100年プロジェクト」に賛同し 桜の苗木の寄贈と記念植樹を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下、当財団）は、岡崎市制100周年記念事業「岡崎さくら100年プロジェクト」に賛同し、地域の皆さまが同市内各所で植樹を行う桜の苗木を、3年間で1,000本寄贈します。昨年11月より植樹がスタートし、これまで当財団が寄贈した191本の桜が同市内に植えられました。

この取り組みの一環として、3月12日（土）、「イオン チアーズクラブ（※）」の子どもたちや地域のボランティア約100人の皆さまが、当財団が2007年から2009年まで植樹したゆかりの地「おおだの森」で、新たに157本の植樹を行います。

また同日、1965年にイオンと同市とで植樹を行った乙川堤防^{おとがわ}沿いにて岡崎市長にもご参加いただき、記念植樹を行います。

岡崎市は日本の「さくら名所100選」に選定されている岡崎公園をはじめ、多くの桜が植えられ、市民の皆さまに親しまれています。同市は本年7月、市制施行100周年を迎えるにあたり、桜の保護を計画的に行うとともに、市民に親しまれる身近な桜の名所づくりを行う「岡崎さくら100年プロジェクト」をスタートしました。これまで7つの企業や団体から寄贈された桜が、地域の皆さまの手により植えられています。

当財団は、同市の桜が次代に引き継がれ、将来にわたり市民の皆さまに愛されることを願い、同プロジェクトを3年間サポートし、苗木の寄贈を行ってまいります。

設立25周年を迎えた当財団は、今後も地域の皆さまと手をたずさえ、美しい自然を未来につなぐべくさまざまな環境保全活動に取り組んでまいります。

（※）イオンチアーズクラブ：公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。地域の子どもたちが月に1回程度集まり、イオン各店舗の従業員のサポートのもと、6年を1サイクルとして、「ゴミ」「リサイクル」「資源（エネルギー）」「太陽と自然」「植物」「動物」をテーマに、さまざまな活動に取り組んでいます。

【記念植樹について】

日 時：2016年3月12日（土）11:00～11:30

場 所：乙川堤防沿い 愛知県岡崎市久後崎町字本郷

参加人数：50人

樹 種：陽光桜

共 催：岡崎市、公益財団法人イオン環境財団

後 援：イオンリテール株式会社、マックスバリュ中部株式会社、マックスバリュ東海株式会社

出席者：岡崎市

内田 康宏 様

公益財団法人イオン環境財団 理事長

岡田 卓也

イオンリテール株式会社 取締役専務執行役員 東海・長野カンパニー支社長

辻 晴芳

マックスバリュ中部株式会社 代表取締役社長

鈴木 芳知

マックスバリュ東海株式会社 代表取締役社長

神尾 啓治

(乙川堤防沿いに設置した記念石碑)



【「東部緑地」植樹について】

日 時：2016年3月12日（土）10:00～12:00

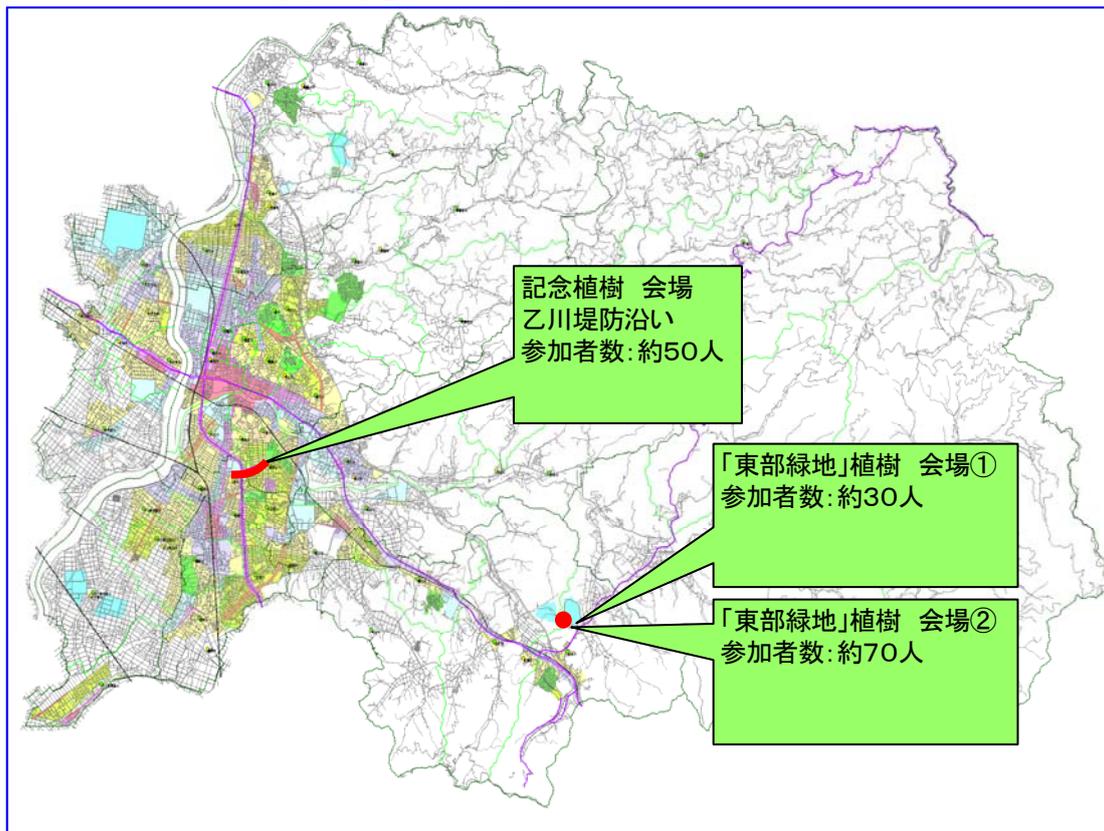
場 所：愛知県岡崎市東部緑地 おおだの森

参加人数：「イオン チアーズクラブ」の子どもたち約50人、地域の皆さま、計100人

植樹本数：陽光桜、ジンダイアケボノの苗木 157本

※岡崎市主催の植樹となります。当財団は、苗木の寄贈のご協力を行います。

【3月12日（土）の植樹予定地について】



ご参考 これまでの岡崎市でのイオンの植樹活動について

■ 1965年 岡崎市出店を記念し植樹

岡崎市は、イオンの前身のひとつ「岡田屋」が、創業した三重県外に初めて出店した地域です。これを記念し、イオンは1965年、乙川の堤防に1,000本の桜を植樹しました。現在は桜の名所として、多くの観光客や地域の方々の目を楽しませています。

■ 2007～2009年 「おおだの森」植樹

2007年より、当財団と岡崎市は共催で、同市が市制90周年を迎えるにあたり「おおだの森」が市民の憩う桜の名所となることを願って、3年間でのべ1,600人による2,000本の桜の植樹を行いました。



2007年



2008年



2009年

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン（株）コーポレート・コミュニケーション部 内山 TEL：043-212-6061